



【先週 1月13日～1月19日の外食の出来事】

■サイゼリヤが純利益 22%減 9～11月

サイゼリヤが9日発表した2018年9～11月期連結決算は、純利益が12億円と前年同期比22%減った。接客効率の改善が進まず売上高が計画に届かなかった。全席禁煙化などに伴う経費の増加や原材料高も響いた。

■吉野家、15億円の赤字に 原材料価格の高騰や人件費増加で

吉野家の2018年3～11月期連結決算は、純損益が15億円の赤字に転落した。3～11月期として赤字は5年ぶり。牛肉、コメなどの原材料価格が高騰していることや、アルバイトやパートの時給上昇による人件費の増加が響いた。

■ペッパーフード、今年も定昇 5%アップ “日本で一番働きたい外食企業”への道をひた走る

株式会社ペッパーフードサービスが、2019年の社員賃金の定期昇給として5%アップを決定。また昇給昇格をあわせたベースアップ率は6.18%となる。なお、2018年度実績は個別に昇給・昇格を実施し6.4%だった。

■コメダホールディングス、第3四半期(H30年3月～11月)の連結業績 増収増益

コメダの平成31年2月期第3四半期の連結業績は売上収益222億9200万円(対前年同期比16.8%増)、税引前利益55億500万円(同5.2%増)、四半期利益37億7600万円(同4.8%増)と増収増益を確保した。

■SFPホールディングス、第3四半期(H30年3月～11月)の連結業績 増収減益

SFPホールディングスの平成31年2月期第3四半期の連結業績は売上高278億5600万円(対前年同期比2.2%増)、経常利益21億5400万円(同17.3%減)、四半期純利益12億9300万円(同35.0%減)であった。

■ゼットン、増収増益 原価カットと人員効率化で、人件費増を吸収

株式会社ゼットンの2019年2月期第3Q(2018年3～11月)の業績は売上高76億82百万円、3.6%増。経常利益5億57百万円、5.9%増。他社が人件費増による利益低下に苦しむ中、増収増益となった。

■リンガーハット、第3四半期(H30年3月～11月)の連結業績 増収減益

リンガーハットの平成31年2月期第3四半期の連結業績は売上高350億4400万円(対前年同期比3.6%増)、経常利益15億100万円(同22.4%減)、四半期純利益3億9400万円(同55.4%減)であった。

■串カツ田中、実質増益 前期最終、禁煙化で家族客増

串カツ田中ホールディングスの2018年11月期の連結決算は、純利益が4億6900万円だった。単独決算だった前の期とは単純に比較はできないが、16年に東証マザーズに上場して以降、実質的に3期連続の増収増益となる。

■ドトール・日レスHD、第3四半期(H30年3月～11月)の連結業績 減収減益

ドトール・日レスホールディングスの平成31年2月期第3四半期の連結業績は売上高977億8500万円(対前年同期比1.4%減)、経常利益81億8700万円(同5.2%減)、四半期純利益52億2700万円(同6.6%減)であった。